キャラクター名
緑柱　藍（リョクチュウアイ）

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ キュマイラ	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校1年生
オプショナル		年齢	15	性別	女
覚醒	素体	衝動	恐怖	初期侵食率	35 %
出自	双子	経験	実験体	邂逅	主人：霧谷雄吾

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	5	1	0	4		10
感覚	1	0	0	2		3
精神	1	0	0			1
社会	1	0	0			1

HP	41
行動値	7
(非装備時)	7
戦闘移動	12
全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
チェーンソー	白兵	10r-3	3	6		
キャッツアイ・アクアマリン	白兵	13r-3	3	6		チェ+アームズ+コン（C値7）（ｺｽﾄ4）
サンタマリア・アクアマリン	白兵	29r-3	3	6		ﾌﾙ++チェ+ｱｰﾑｽﾞ+ｺﾝ（C値7）（100↑）（ｺｽﾄ9）

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
応急手当セット	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
緑柱　翠	P　尊敬	N　嫉妬		
牡丹　一華（イッカ）	P　同情	N　恐怖		
霧谷雄吾	P　誠意	N 猜疑心		
	P　友情	N 疎外感		
	P　誠意	N　恐怖		
	P　信頼	N 猜疑心		
	P　友情	N 劣等感		

最大財産P:　2	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
コンセントレイト：ブラックドッグ	3	2	メジャー	-	-	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	-	
効果：Ｃ値-Ｌｖ								
ウェポンマウント	1	-	常時	至近	自身	-	-	
効果：常備化ポイントＬｖ*5+5以下の武器を常備化。基本侵蝕値+2								
魔獣の咆哮	2	4	オート	視界	単体	自動成功	-	
効果：対象が判定を行う直前に使用、その判定ダイスを-Lv。1Rに一回								
アームズリンク	3	2	メジャー	武器	-	対決/白兵・射撃	-	
効果：組み合わせた判定のダイスを+Ｌｖ								
フルインストール	3	5	イニシアティブ	至近	自身	-	100%	
効果：ラウンド中全ての判定に[Lv*3]個のダイスボーナス。1シーンに1回使える（要100%）								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

候補：ＭＡＸボルテージ、雷攻撃、ライトカスタム

カラパレ43（メモ）モチーフはアクアマリン。姉はエメラルド。チェーンソーの名前はアクアマリン。
無口で抑揚のない声で機械的に淡々としゃべる少女。ガリガリ。チェーンソーを細腕でぶん回す。
高校に入学し、足を改造したのでニーハイを履いた。服もちゃんと着た。
先生に笑ってほしくて、不器用ながらも学校の同級生達に馴染もうと努力してるが致命的に不器用。

「Storming Fairy」
2)PC2
　ロイス：山陰東[やまかげ・あずま](遺志/悔悟)
　C:指定なし/W:指定なし
　山陰東は君の恩人だ。彼はかつてキミの担当医で、何よりも人の幸せを願う、誰よりも献身的な人物だった。
　そして現在、何故か雪の降る夏のある日、キミはFHエージェントに追われる山陰東と再会した。
　すでに致命傷を負っていた彼は、キミにこの異常気象の原因を伝え、その解決の手段を託した。

「Under the Scarred Moon～神様は転校生～」
2)PC2:緑柱藍
ロイス:高校の同級生たち(友情/疎外感)
前回の騒動後、山陰の遺言もあって一般の高校にも通うようになった。
ある日、キミが学校の友人と放課後の時間を過ごしていると、突如学校全体をワーディングが覆った。
学生への害意を伴ったそのワーディングに、キミは級友を守らねばならないと察した。